

アジス・マズニ研究員（マレーシア）



私はマレーシアから参りましたアジス・マズニと申します。結婚して2人の息子がおります。マレーシアは、多様な人種・言語・文化が共生する多民族国家です。マレー系、中華系、インド系以外にも様々なエスニックグループが共生しているのは、アジアではマレーシアだけです。地理的には、マレーシアは赤道の近くに位置し、熱帯雨林気候のため、気温、湿度共に高く雨も多くふりますが、世界最古の熱帯雨林やビーチ、離島など多くの観光スポットを有しています。

私は2005年にマレーシア大学で物理を専攻し理学士号を取得した後、2011年に国立政策研究所において、防災対策について学び修士号を取得しました。

現在私は、マレーシア気象局気象・地球物理学オペレーションセンターにおいて、気象地球物理技術科課長として働いています。マレーシア気象局は、エネルギー、科学技術、環境、気候変動省に属し、気候変動、異常気象、地震・津波の脅威からマレーシアを守る責任を担っています。

マレーシア気象局は、2020年までに、気象学、気候学、地球物理学の分野において、気象・地球物理学オペレーションセンターがアジアで一番になることを目標としています。私は気象地球物理技術科課長として、地震・津波の観測・分析システムの作動確認、地震・津波の警報の迅速な伝達を担当してきました。また、防災意識の啓発や、異常気象、地震・津波の訓練も実施してきました。

私はこのプログラムを通して、日本の防災の仕組み、優良事例などについての知見を深め、自国で共有したいと考えています。

最後になりますが、このような機会を提供して頂いた日本政府、常にサポートして頂いているADRC職員に心から感謝を申し上げます。Thank you.